あなたなりの視点で描く

なぜか気になる情景



[学びの目標]



形や色彩,全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、絵の具の使い方を工夫して表す。



身近な場所のイメージなどをもとに、形や色彩、構図などの工夫を 考え、構想を練ったり鑑賞したりする。



気になる場所を見つけ、その特徴をとらえて表すことに関心を持ち、 意欲的に取り組む。

あなたは、通学路や家などの見慣れた情景の中で、なぜか気になる心ひかれるような場所や、ものに出会ったことはないでしょうか。何気ないものでも、形や色彩、全体の様子などに着目すると何かに見えてきたり、もののつぶやきが聞こえてくるようなイメージが生まれたりします。

あなたの視点で見つけた情景を、表現方法を工夫 して表してみましょう。

気になるところを見つけたら

気になるところを校内や通学路など で見つけた時は、カメラで記録した りスケッチしたりしてみましょう。





兄弟のように並んだ木の 実の写真と,川の水面を とらえたスケッチ。



生徒作品

じゃぐち

[アクリル・紙/35.5×35cm]



いつもポツンとそこ にあり, きれいな水

を出し、光に当たって独特のさび しさと美しさを持つ、この蛇口に ひかれました。

A4判 22P 美術1

造形的な視点

作者の表したいことと、構図や 色の使い方に着目してみよう。





生徒作品

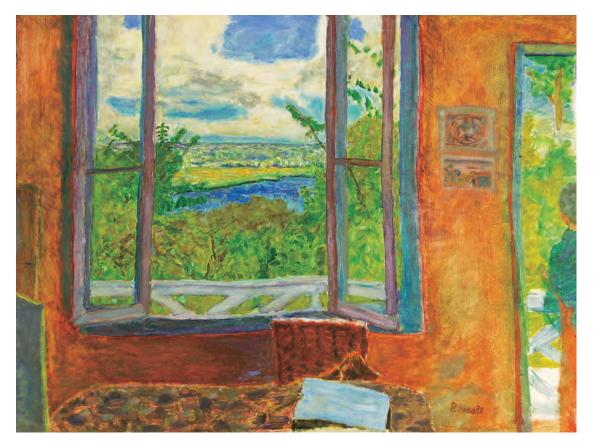
新しい世界へ

[アクリル・紙/38×54cm]



「出られた!長かった!」みぞの中から 葉っぱが外に向かって生き生きと生えて

いて、その力強さや美しさを表現したいと思いました。



セーヌ川に面した開いた窓、ヴェルノンにて [油彩・キャンヴァス/74×113cm] 1911ころ ジュール・シェレ美術館ニース蔵[フランス] **ピエール・ボナール** [フランス・1867 ~ 1947]

窓越しの明るい風景と室内の暗さが、色や構図で印象的に表現 されている。

生徒作品

スロープの先

[アクリル・紙/38×54cm]



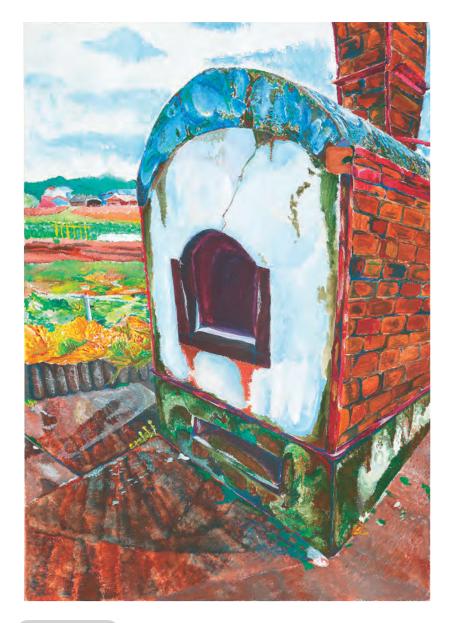
スロープの先は, いつも待ち合わせ

をする場所で好きな時間を過ご せる所です。手前の木は庭師の 方が手入れをしていて温かみを 感じる形です。

参照 P.62 「遠近感を表す」







生徒作品

はうきゃくじょ焼却所

[アクリル・紙/54×38cm]



使い古されて風化した感じや、形も面白いと思いました。背景は明

るく焼却所は暗いという見た時の印象を表現しました。



雨 [紙本着色/108.7×86.5cm] 1953 東京国立近代美術館蔵 **福田平八郎** [大分県・1892 ~ 1974]

を根

電

に落ちては消えていく

雨粒を生き物の

定跡のように感じた

作者の視点が、

色彩の重なりから伝わってくる。

A4判 22P 美術1